

円谷英二をいかに理解するか

ブルデュー派社会学の再検討

「特撮」という映像表現がどのように形成され、円谷英二がどのように社会的に卓越した地位へと到達していったのか――。

『円谷英二の卓越化―特撮の社会学』は、この問いに対し、円谷英二が「特撮の神様」と称されるに至ったプロセスを、社会学者ピエール・ブルデューの「界」の理論に依拠しながら、その時代背景や社会的要因とともに丁寧に分析し、「卓越化」という視点から新たな解釈を提示する意欲的な試みである。

本合評会は、本書の意義や貢献を明らかにするために、ブルデュー研究の平石貴士氏ならびに映画研究の大月功雄氏からコメントをいただき、著者の真鍋公希氏から応答いただく。本合評会が、ブルデュー派社会学の社会的・学術的意義を再考し、現代社会における文化と社会の関係を考える機会になれば幸いである。



著者 真鍋 公希（中京大学現代社会学部・講師）

評者 平石 貴士（立命館大学・非常勤講師）

大月 功雄（立命館大学人文科学研究所・客員研究員）

司会 下村 晃平（立命館大学衣笠総合研究機構・専門研究員）

2025年 2月24日（月）

立命館大学朱雀キャンパス 307 教室 14:00-17:30

《参加費無料・事前申込》

下記 QR コードまたはアドレス（<https://forms.gle/hfRQP1ubs6sFZc4C9>）より申し込みください。

※当日は公共交通機関を利用してご来場ください（駐車場・駐輪場はございません）。

【主催】立命館大学人文科学研究所重点プロジェクト「グローバル化と地域の多様性（diversity）」

【共催】科学研究費・研究活動スタート支援「日本におけるネオリベリズム思想の導入・普及の過程に関する知識社会学的研究」（研究代表者：下村晃平）

科学研究費・基盤研究 B 「「家族主義レジーム」の変容の国際比較研究-家族政策の多様化とその因果的背景-」（研究代表者：加藤雅俊）

【連絡先】下村晃平（shimo-k@fc.ritsumeai.ac.jp）



立命館大学
人文科学研究所
INSTITUTE OF HUMANITIES,
HUMAN AND SOCIAL SCIENCES

